

地盤ネットホールディングス
連結決算補足説明資料

2020年3月期 第3四半期

■2020年3月期 第3四半期 決算概要

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 3Q	2020/3 3Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,925	1,849	△75	△3.9%
売上総利益	866	755	△111	△12.9%
販管費	863	705	△157	△18.3%
営業利益	2	49	+46	-%
四半期純利益	△8	△21	△13	-%

2020年3月期 第3四半期 決算概要

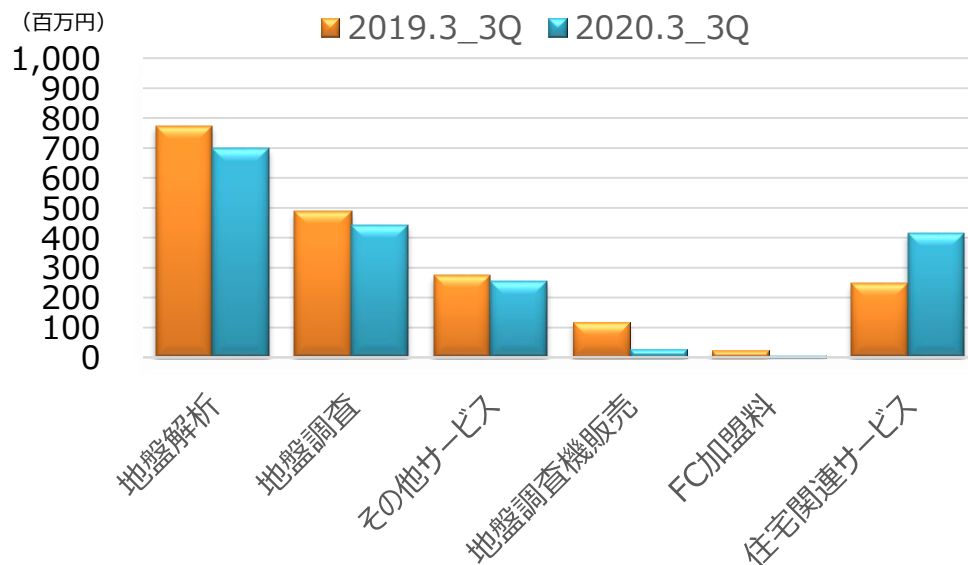
売上高は、前年比△75百万円（増減率△3.9%）となったものの、ダナン支社を活用した業務改善による人件費削減、積極的な経費見直しにより、販管費を前年比△157百万円削減。その結果、営業利益は前年同期比+46となりました。

しかしながら、台風第19号での浸水被害に伴う災害による損失40百万円、法人税等26百万円を計上したことにより、四半期純損失21百万円となりました。

■2020年3月期 第3四半期 前年同期比－サービス別売上高

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 3Q	2020/3 3Q	前年同期比	
			増減額	増減比
地盤解析サービス	774	698	△75	△9.8%
地盤調査サービス	488	443	△44	△9.2%
その他サービス（部分転圧等）	274	253	△20	△7.4%
地盤調査機販売	116	29	△86	△74.4%
FC加盟料	24	7	△16	△68.8%
住宅関連サービス	247	415	+167	67.8%
合計	1,925	1,849	△75	△3.9%



当第3四半期のその他サービス（部分転圧等）の実績253百万円に「BCPO事業」による業務受託売上が11百万円含まれております。

■2020年3月期 第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 期末		2020/3 3Q		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
資産の部	1,782	100.0%	1,761	100.0%	△ 20
流動資産	1,505	84.4%	1,528	86.8%	23
(現金及び預金)	742	41.6%	644	36.6%	△ 97
(受取手形及び売掛金)	306	17.2%	332	18.9%	25
(有価証券)	-	-	252	14.3%	252
(未収入金)	228	12.8%	97	5.5%	△ 131
(未成工事支出金)	17	1.0%	40	2.3%	23
固定資産	277	15.6%	233	13.2%	△ 44
負債の部	323	18.1%	373	21.2%	49
流動負債	307	17.3%	359	20.4%	52
(未成工事受入金)	68	3.8%	101	5.7%	32
固定負債	15	0.9%	13	0.8%	△ 2
純資産の部	1,459	81.9%	1,432	81.3%	△ 26
株主資本	1,456	81.7%	1,431	81.2%	△ 24
(資本金)	490	27.5%	490	27.8%	-
(資本剰余金)	22	1.2%	22	1.3%	-
(利益剰余金)	1,020	57.2%	953	54.1%	△ 67
(自己株式)	△ 76	△4.3%	△ 76	△4.4%	-
その他の包括利益累計額	△ 1	△0.1%	△ 0	△0.3%	△ 3
新株予約権	4	0.3%	4	0.2%	-

【主な資産増減】

- ・外貨建てMMFへの投資による有価証券の増加
- ・回収による未収入金の減少

【主な負債増減】

- ・未成工事受入金の増加
(13件分)

【主な純資産増減】

- ・配当による減少

■ 2020年3月期 連結業績予想_2019年4月1日~2020年3月31日

※百万円未満切捨で表示

	2020年3月期 予想		(参考) 2019年3月期 実績	
	通期	前期比	2019.3期	前期比
売上高	2,400	△2.3%	2,455	△8.2%
営業利益	60	68.5%	35	△55.1%
経常利益	65	87.8%	34	△53.5%
当期純利益	—	—	17	△74.6%

連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表時から修正しております。

当期純利益につきましては、未定とさせていただき、通期業績予想の算定が可能となった時点で改めて開示させていただきます。

2020年3月期の取り組みについて

- ・トリプル調査、トリプル補償、トリプル設計の普及
- ・地盤適合耐震住宅の普及のためのセミナー、現場見学会等のイベント開催
- ・CAD製図、BIMによる動画作成等、外部からの業務委託事業（BCPO事業）の拡大
⇒現地（ベトナムのダナン）を視察するツアーも開催。

実際に現地視察された企業の皆様から好評いただいております。順次、受入体制を拡大しております。

- ・FC加盟店の成功事例横展開による受注拡大
- ・改良工事の適正化による補償の取込
- ・組織、役員体制の変更によるガバナンス強化

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2020年2月13日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。